



しょうじくちの5代目 小路口 欣弘  
ブログ更新中

## ごあいさつ

ひんやりとした秋気が心地よい季節となりましたが、皆様方におかれましてはお健やかに過ごしの事とお慶び申し上げます。また平素は格別のお引立てを賜り、厚く御礼申し上げます。おかげさまで、先代より会社を引き継ぎ無事1年目を終えることが出来ました。先代が務めていた色々な役職をいくつか引き継いだこともあり、毎日新しい経験の連続で、本当に色々な勉強をさせて頂いております。と同時に、改めて先代が元気で一緒に働いている時には見えなかった先代の苦勞や活躍を認識し、これまで自分がどれだけ甘えて過ごしていたか、思い知らされた1年でありました。この1年間の反省を今後にかして2年目も頑張っていきたいと思っております。

去る10月12日に堺市民会館におきまして弊社第39期経営計画発表会を開催致しました。今年度の方針としましては、『寺院支援活動』・『顧客様フォロー活動』に力を注いでいきたいと考えております。以前より感じてはおりましたが現代の社会における『お寺離れ』や『宗教離れ』に私自身、大変懸念を抱いており、色々と検討を重ねた結果、弊社が現在行っているこの通信活動などをお手伝いすることでお寺と檀家様の絆を家族ぐるみで少しでも深めて頂けるのではないかと一つの結論に達し、今年度実際に試してみたいと考えております。『無縁社会』を『有縁社会』に。これが今後小路口石材が日本の社会の為に存在することの使命の一つだと考えております。

『顧客様フォロー活動』につきましては、これからもこの通信を通じて皆様とより親密な関係づくりが出来たらと考えております。そして、既にお気付きの方もおられるかと思いますが今号より記事の量を2倍にしております。従業員総動員で記事を書かせて頂きますので今後も墓地などでお見かけの際にはお気軽にお声をお掛け下さい。

最後になりましたが、時節柄くれぐれもご自愛頂き、ご家族皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

## プレゼント企画 子育て中のご家族必見!

とっても素敵な絵本をプレゼントします(´▽`)

冒頭のごあいさつでも同じようなことを書かせて頂きましたが、近年『お寺離れ』『宗教離れ』が顕著に見られるようになってまいりました。

この事態に関しては我々石材業界全体が危機感を抱いておりますが、そのような中で弊社のある取引先の社長様のご自身の家庭での経験を基にお墓参りの良さを伝える絵本を自主制作されました。本のあとがきにも書かれてありますが、小さな頃からお墓参りの習慣を身につけることで自然と先祖や親、兄弟を大切にし、心の優しい、感謝の気持ちを忘れない大人に育つということを少しでも多くの方に認識してもらいたいという思いから製作に至ったそうです。

弊社も同志としてこの絵本を分けて頂けることになりました。数に限りはございますが、少しでも多くの方にお墓参りの価値をご理解頂ければ私共もこれ以上に嬉しいことはございません。ぜひ小さなお子様に楽しく読み聞かせてあげて下さい。



お電話・fax・eメールで受け付けております

小路口石材通信

# 一期一会

vol.19  
2011, 10, 20



## 工事部長和弘が行く うまいもん釣行記

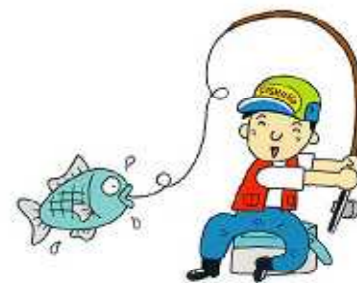
今回、通信大幅リニューアルにより1コーナーを担当させて頂くことになりました工事部長の小路口 和弘です。小さい頃からの趣味である釣りを通して旬のうまい魚を紹介していきたいと思っております。

第一回目の今回はウナギを釣りに行って参りました。ウナギの旬って夏じゃないの?と思われるかもしれませんが天然ウナギの本当の旬は9月中頃から10月中頃の1ヶ月程度なんです。産卵で海へ下る為にその頃餌をたくさん食べて体に栄養を蓄えるため脂がのって大変美味しいんです。とゆうわけで大阪南部の某河川に行ってきました。仕掛けは簡単、ペットボトルの空き瓶にナイロン糸4号を100回程巻き付けます。その先に中通しおもり15号を通してサルカンを結びハリス4号15cm程度にウナギ針14号に餌は太めのミミズです。後は現地でペットボトルに水を半分ほど入れて、左手でペットボトルを持ったまま仕掛けを10m程投げ込みます。足下にペットボトルを立てて飲み口のところに2~3回巻き付けて並べます。(たくさん仕掛けを入れた方が確率が上がります。)ウナギが掛かるとペットボトルが倒れてバタンと音がします。手で仕掛けをたぐり寄せて捕獲完了。

たったこれだけで天然ウナギが釣れちゃいます。今回は5.5cm、4.5cmの2匹ゲットしましたので早速調理したいと思えます。ウナギを活きたまま捌くのは素人では難しいので冷凍庫に40分程度入れて仮死状態にします。カチカチに凍ると捌きにくくなりますし、早いと捌いている途中で動き出してしまいます。ひれが白く凍るぐらいが目安です。ヌルヌルしてつかみにくいので軍手を付けた方が作業しやすいです。まな板の上に新聞紙を広げて釘か千枚通しの様な物で頭を固定します。関西は腹開きの方が一般的ですが、何度か試した結果背開きの方が失敗しにくいように思います。半分に切り分け串を打って焼いていきます。普段は魚焼き器で焼いていますが今回は卓上のバーベキューコンロで炭焼きにしてみました。皮の方から焼いていきます。何度も返しながら30分ほど焼いていきます。焼き足りないと思ったり骨が気になったりします。

身から出てくる脂で揚げ焼きになり外はサクサク中はフワッと仕上がります。器に盛りつけて出来上がり。山葵醤油でいただきます。

天然のウナギは味に個体差がありますので食べてみるまで分からないのですがこの時期に釣り上げた個体は大抵大当たりです。皆さんも一度天然ウナギを味わってみて下さい。



↑釣上げたウナギちゃんです



↑開いて炭火でじっくりと焼きます



↑ウナギの白焼きの完成です!

発行元  
しょうじくち  
小路口石材工業株式会社  
〒591-8034  
大阪府堺市北区百舌鳥陵南町1-13  
フリーダイヤル  
**0120-78-5461**  
FAX 072-278-5463  
Eメール  
y-shojiguchisekizai@  
dance.ocn.ne.jp  
ご感想お寄せ下さい

『栄光に近道なし』



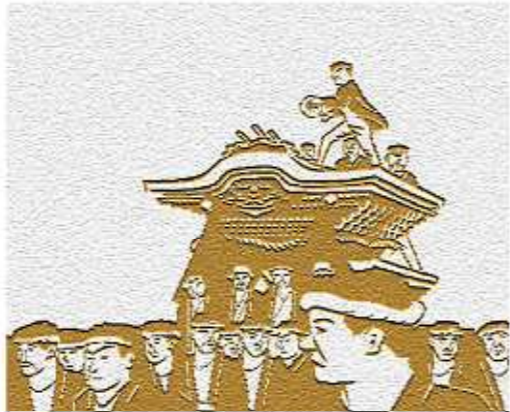
秋といえば食欲の秋、読書の秋などありますが私にとってはだんじりの秋だと思っています。だんじりと言えば岸和田だんじり祭りが大変有名ですが堺にもだんじり祭りがたくさん存在しており鳳や八田荘、そして私が曳いている堺市の中区陶器地区にもだんじり祭りがああります。

だんじり祭りとは諸説ありますがその年の五穀豊穡、無病息災を祈願して行った稲荷祭りが起源とされる説が有力とされています。年に一度地域の方々と、力を合わせ祭りに没頭することは私の楽しみになっており、高校1年生から参加させて頂いてるので今年で8年目となり青年団では先輩より後輩の数の方が増えてきており、少し淋しい気もしますがしっかりと責任のある行動をして後輩の良い見本になりたいと思っています。( ^\_^ )

この時期になると青年団は寄合や鳴り物の練習などで毎日のように集まり熱くだんじりについて語り合い深夜になることも多々あります。祭りは本番の数日だけでなく何ヶ月も前から地域の人々や協力して下さっている人たち、そして青年団が協力し成り立っています。その全員の熱い思いが祭りを何十年も継続して行われてきた理由だと私は思います。

みなさまのお住まいの地域にもなにかお祭があれば参加してみたいかでしょうか。自分の住んでいる地域の良さや新しい発見があるかもしれませんよ。

今月号より1コーナーを担当させて頂き、自分の興味のあることや感じたこと考えたことを掲載させて頂けます。まだまだ稚拙な文章ですが読んで頂けたら嬉しく思います。



一基限定  
商品のご紹介 ～福島県産 青葉石～

ご無沙汰致しております。営業兼事務の石田です。  
今回は弊社永らくの人気石種として取り扱っておりました福島県の石が震災の影響で採石場が放射能の立入禁止区域となってしまう、残念ながら採石がストップされてしまいました。それに伴い、当店展示品の墓石を一基限定特別価格にて販売させて頂きたいと思っております。

採石はもちろん震災前、室内展示で約3年間、私が責任をもって毎日丹念に掃除しておりますので作りたてより価値のある製品となっております。セット内容及び金額は以下の通りとなっております。宜しくお願い致します。



セット内容

- ①墓石本体
- ②石製納骨室（中国産白御影石使用）
- ③文字彫刻一式
- ④施工一式（基礎工事含む）
- ⑤ステンレス製花筒・線香立
- ⑥石製ローソク立
- ⑦玉砂利一式

- ⑧施工時の写真
- ⑨永年アフターサービス

以上一式で消費税込み  
通信ご愛読特別ご奉仕価格  
¥850,000-  
(通常価格¥1,150,000-)

東日本大震災 人的支援活動報告

過日9月1日から3日間、一般社団法人 日本石材産業協会からの募集で、宮城県石巻市に墓地の整理作業に行きまして。自社の3tトラックで兄と深井君と私の3人で、片道12時間かかりました。早朝に目的地付近に着き、目にした光景はテレビで何度も見ているはずでしたが実際のそれは想像をはるかに超える被災地の惨状でした。多くの家が津波で流され、野原になり、わずかに残った家もとても住めるような状態ではなく、今にも崩れ落ちてしまいそうな家々ばかりでした。これがほんの少し前まで人々が笑い合い、過ごしてきた街並かと思うと、愕然としてしまい、言葉も出ませんでした。

目的の墓地に到着し、予想通り墓地も足の踏み場も無いような危険な状況で、私達に課せられた作業は安全確保のために墓地通路に散乱した石を整理することでした。

天候は台風の影響で雨の中、地元の石屋さんをはじめ日本各地から多くのボランティアの方が集まっていました。トラックのクレーンで土砂に埋もれた石を一つ一つ動かし、なるべく少しでも多くの作業をしようと3人共奮闘しましたが、朝から夕方までの作業で何百とある中の5件足らずしか作業出来ませんでした。

改めて人間の微力さと自然の強大な力の差を感じましたがその中で本当に少しずつでも復興に近づいていることを、この墓地の管理をされているお寺の住職様に深く感謝の意を表して頂き、少しの期間でしたが、我々3人には今後の人生において大きな経験になったと思います。



↑津波の災害にあった会社です



↑作業中の写真です

大好評  
草の生えない防草土

皆様お盆、お彼岸にはお墓参りに行かれたと思いますが、草抜きに奮闘された方もいらっしゃるのではないでしょうか？

当通信ではすっかりお馴染みとなりました防草土のご紹介をさせて頂きます。

- ①敷き均すだけの簡単施工(既存土2~3cmスキ取りが必要です)
  - ②固まらないので透水性も抜群です。
  - ③弊社が導入して4年間、目立って草が生えているのはほとんど確認しておりません。
- ※墓所の環境で効果に多少の差があることをご了承下さい。

通信特別価格  
1㎡あたり ¥6,000 (施工費・消費税込)  
(通常価格¥7,500)

例えば... 鉢ヶ峯公園墓地の場合

2.6㎡墓地	...	約¥8,400-
4㎡墓地	...	約¥15,600-
6㎡墓地	...	約¥24,600-

もちろん墓所ごとの御見積も致しますのでお気軽にお問い合わせ下さい  
m( )m

